

スマイルだより

6月号



気温と湿度が高くなる6月は、食中毒に注意する必要があります。食中毒の三原則は「細菌をつけない・ふやさない・やっつける」。抵抗力が弱い乳幼児期は、重症化することもありますので、きちんと手洗いをして清潔にし、予防しつつ食事を楽しみたいですね。



気管支ぜんそく

ダニ・カビを防いで
気管を守ろう

気管支ぜんそくの原因(アレルゲン)として最も多いのは、ダニなどによるちり(ハウスダスト)。気管支ぜんそくの発作を防ぐためには、身の回りのダニを減らすことが大切です。

湿度の高い時期に要注意

梅雨時など、湿度の高い時期はカビやダニが増えやすく、気管支ぜんそくの発作が起こりやすい時期です。換気をしたり掃除機をかけたりして室内のハウスダストを減らす、除湿器を使うなどで、アレルゲンを減らしましょう。



エアコンや 空気清浄機も注意

エアコンや空気清浄機の内部はカビやほこりがたまりやすいもの。フィルターなどをこまめに掃除して、清潔に保ちましょう。

～病児・病後児保育所スマイルQ&A～

Q：お弁当を持参の場合、どんな物がいいですか？

A：アレルギーや未食の物以外で、普段食べなれているものが望ましいです。病状によっては食べられるものが少ない場合や食欲がないこともあります。ゼリーやバナナなどを持参していただいても大丈夫です。何種類か持参していただいて、状況に応じて保育所で対応することも可能です。

Q：お気に入りのおもちゃを持ってきてもいいですか？

A：はい。初めての利用の場合は特にですが、お子様が持って安心したり、遊んだりできる物であれば持参していただいても大丈夫です。注意として、小さいパーツの物や保管が難しい物、衛生上望ましくないもの等は避けていただくと助かります。

5月の利用状況

- ・急性上気道炎
- ・感染性胃腸炎
- ・喘息・喘息性気管支炎
- ・嘔吐下痢症
- ・ヒトメタニューモウイルス

上記病名のお子さんの利用がありました。

《震度5以上の地震が起きた場合》

①すぐにお迎えの連絡をします。

※電話が繋がらない場合には、連絡を待たずすみやかに迎えをお願いします。

②伝言ダイヤル『171』にて状況の確認をお願いします。